

スポーツ・サイエンス・インスティテュート (SSI)

【2024 年度大学評価総評】

自己点検・評価シート「II 改善・向上の取り組み」において、3つの項目（授業アンケートの改善、新カリキュラムの検討・確定、および、新カリキュラムに対する質保証委員会・SSI 運営委員会によるレビューの実施）について「S」評価が選択されている。新カリキュラムの開始を軸としたこれらの活動は、いずれも教育改善に対して積極的に取り組んでいることを裏づけるものであり、かかる評価は適切と判断する。

2023 年度中期目標・年度目標達成状況報告書においては、「内部質保証」、「教育課程・学習成果」、「教員・教員組織」に関連する5項目について「S」、1項目について「A」と評価されており、教育の改善に対して着実な成果を上げているものと高く評価できる。

2024 年度中期目標・年度目標において提示された、年度目標および達成指標のいずれについても、相当具体的な目標および指標が提示されている点は他学部等のモデルともなりうるものだろう。中でも、「オンデマンド授業と少人数授業について検証するため、必要に応じて教員・学生から聞き取りを行い、その結果を議論する」、「SSI 生の学習支援を実装するための方策を幅広く再検討する」といった達成指標については他学部においても大いに参考となる一般性を有していると思われるので、これらの推進に大いに期待する。

大学基準協会の第4期大学基準に基づいた評価項目の充足状況の確認

2024 年度自己点検・評価シートに記載された I 現状分析を確認	すべての評価項目で「はい」が選択されており、充足していることが確認できた。
--------------------------------------	---------------------------------------

【2024 年度自己点検・評価結果】

I 現状分析

基準1 理念・目的

部局による自己点検・評価は実施しない

基準2 内部質保証

2.1 内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。

2.1① S S I において、運営委員長及び運営委員会等の権限や責任を明確にした規程を整備し、規程に則った運営が行われていますか。	はい
2.1② S S I において、自己点検評価結果を活用して改善・向上に取り組んでいますか。	はい

【根拠資料】

- 2.1①
- ・法政大学スポーツ・サイエンス・インスティテュート運営委員会規定
 - ・2023 年度第 1 回 SSI 運営委員会
2023 年度以降の質保証委員について
 - ・2023 年度第 5 回 SSI 運営委員会
2024・2025 年度 SSI 運営委員会委員長の選任について
 - ・2023 年度第 6 回 SSI 運営委員会
2024 年度 SSI 運営委員会副委員長の選出について
- 2.1②
- ・2023 年度第 1 回 SSI 運営委員会
2023 年度 SSI 自己点検・評価活動について
2023 年度以降の質保証委員について
 - ・2023 年度第 2 回 SSI 運営委員会
2024 年度 SSI カリキュラム改編について
 - ・2023 年度第 3 回 SSI 運営委員会
2023 年度自己点検・評価シート／中期目標・年度目標等

<p>カリキュラム委員会の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023 年度第 4 回 SSI 運営委員会 カリキュラムマップ、ツリー、ナンバリングの点検及びカリキュラムの検証について 2023 年度シラバスチェック（質保証委員）について ・2023 年度第 6 回 SSI 運営委員会 2023 年度末自己点検・評価シートについて SSI 専門科目と各学部ディプロマポリシーの紐づけについて ・2023 年度第 7 回 SSI 運営委員会 2023 年度中期目標・年度目標達成状況報告書 2023 年度教員による授業相互参観実施状況報告書について
--

基準 3 教育研究組織

部局による自己点検・評価は実施しない

基準 4 教育・学習

(1) 教育課程・教育内容

4.2 学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。

4.2①各授業科目の位置づけ（主要授業科目の類別等）と到達目標の明確化をしていますか。	はい
4.2②「法政大学学則」第 23 条（単位）に基づいた単位設定を行っていますか。	はい
4.2③学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間及び単位の設定を行っていますか。	はい
4.2④学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当及び学びの過程の可視化を行っていますか。	はい

【根拠資料】

<ul style="list-style-type: none"> ・法政大学 SSI ホームページ (https://www.hosei.ac.jp/ssi/?auth=9abbb458a78210eb174f4bdd385bcf54) ・SSI パンフレット (https://www.hosei.ac.jp/application/files/5316/9742/3160/2024SSI.pdf) ・2024 年度 SSI ガイダンス及び履修に関する情報について (https://hosei-keiji.jp/ssi/class/rishu/) ・SSI 履修の手引き (https://hosei-hondana.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjoxNjk1NDIsImNhdGVnb3J5TnVtIjo20DA1fQ==&pNo=1) ・SSI シラバス (https://syllabus.hosei.ac.jp/web/show.php?nendo=2024&gakubueng=AYA&t_mode=pc) ・SSI カリキュラムツリー (https://www.hosei.ac.jp/application/files/9516/1647/8148/03_SSI2021.pdf) ・SSI カリキュラム・ポリシー (https://www.hosei.ac.jp/application/files/5516/1647/8051/04_SSI2021.pdf) ・SSI フレッシュマンオリエンテーション（リアルタイムオンライン開催） (https://hosei-ac-jp.zoom.us/j/84238019934?pwd=SDM5L1RwQ1J1SWdUalgreEFubGV0QT09) ・SSI 履修のポイント（PDF 資料） (https://hosei-keiji.jp/wp-content/uploads/SSI_rishuu_point.pdf) ・SSI 新入生ガイダンス（動画） (https://www.youtube.com/watch?v=DiAlw6mhFwE) ・SSI 生共通履修ガイダンス（動画） (https://hosei-keiji.jp/wp-content/uploads/db541f312f3b1125654049f5a108b6d8.mp4)

(2) 教育方法・学習方法

4.3 課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を

意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。

4.3①それぞれの授業形態（講義、語学、演習・実験等）に即して、1授業あたりの学生数が配慮されていますか。	はい
4.3②授業形態、授業方法が大学の教育目標や課程修了時に求める学習成果及びカリキュラム・ポリシーに応じたものであり、期待された効果が得られていますか。	はい
4.3③ICTを利用した遠隔授業は「2023年度授業実施方針について」に沿って、適した授業科目に用いられていますか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られていますか。	はい
4.3④単位の実質化（単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保）を図る措置を行っていますか。	はい
4.3⑤シラバスの作成と活用をしていますか、また学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容になっていますか。	はい
4.3⑥授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等の措置を行っていますか。	はい
【根拠資料】	
<ul style="list-style-type: none"> ・法政大学 SSI ホームページ (https://www.hosei.ac.jp/ssi/?auth=9abbb458a78210eb174f4bdd385bcf54) ・SSI パンフレット (https://www.hosei.ac.jp/application/files/5316/9742/3160/2024SSI.pdf) ・2024年度 SSI ガイダンス及び履修に関する情報について (https://hosei-keiji.jp/ssi/class/rishu/) ・SSI 履修の手引き (https://hosei-hondana.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjoxNjk1NDIsImNhdGVnb3J5TnVtIjo20DA1fQ==&pNo=1) ・SSI シラバス (https://syllabus.hosei.ac.jp/web/show.php?nendo=2024&gakubueng=AYA&t_mode=pc) ・SSI カリキュラムツリー (https://www.hosei.ac.jp/application/files/9516/1647/8148/03_SSI2021.pdf) ・SSI カリキュラム・ポリシー (https://www.hosei.ac.jp/application/files/5516/1647/8051/04_SSI2021.pdf) ・SSI フレッシュマンオリエンテーション（リアルタイムオンライン開催） (https://hosei-ac-jp.zoom.us/j/84238019934?pwd=SDM5L1RwQ1J1SWdUalgreEFubGV0QT09) ・2023年度第1回 SSI 運営委員会 2024年度時間割編成スケジュールについて 2024年度 SSI 新カリキュラムについて（卒業要件・科目シート） ・2023年度第2回 SSI 運営委員会 2024年度 SSI カリキュラム改編について ・2023年度第3回 SSI 運営委員会 2024年度以降の授業編成における留意点について 2023年度 SSI 主催科目受講者数一覧 SSI 主催科目への乗り入れについて 2022年度秋学期 GPCA 集計結果について ・2023年度第4回 SSI 運営委員会 カリキュラムマップ、ツリー、ナンバリングの点検及びカリキュラムの検証について 2024年度 SSI 主催科目授業一覧 2023年度 SSI 主催科目受講者数一覧 2022年度卒業生アンケート調査結果について 2024年度シラバス作成について 2023年度シラバスチェック（質保証委員）について ・2023年度第5回 SSI 運営委員会 2024年度 SSI 主催科目担当者一覧 ・2023年度第6回 SSI 運営委員会 2024年度 SSI 主催科目担当一覧について 	

SSI 成績優秀者に対する表彰について スポーツ実習Ⅱ報告書について SSI 専門科目と各学部ディプロマポリシーの紐づけについて 2023 年度春学期 GPCA 集計結果 ハイフレックスを活用した対面授業の運用について 2024 年度学生アシスタント制度「ラーニング・サポーター」の実施について カリキュラム・ポリシーに基づくシラバス掲載内容の第三者確認について 体育会所属学生が利用する「欠席願」の書式変更等について スポーツ指導者資格申請予定者数について 新入生オリエンテーションの実施について ・2023 年度第 7 回 SSI 運営委員会 2023 年度教員による授業相互参観実施状況報告書について
--

4.4 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っていること。

4.4①成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施していますか。	はい
4.4②成績評価及び単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示していますか。	はい

【根拠資料】	
<ul style="list-style-type: none"> ・法政大学 SSI ホームページ (https://www.hosei.ac.jp/ssi/?auth=9abbb458a78210eb174f4bdd385bcf54) ・SSI パンフレット (https://www.hosei.ac.jp/application/files/5316/9742/3160/2024SSI.pdf) ・2024 年度 SSI ガイダンス及び履修に関する情報について (https://hosei-keiji.jp/ssi/class/rishu/) ・SSI 履修の手引き (https://hosei-hondana.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjoxNjk1NDIsImNhZGVnb3J5TnVtIjo20DA1fQ==&pNo=1) ・SSI シラバス (https://syllabus.hosei.ac.jp/web/show.php?nendo=2024&gakubueng=AYA&t_mode=pc) ・SSI フレッシュマンオリエンテーション（リアルタイムオンライン開催） (https://hosei-ac-jp.zoom.us/j/84238019934?pwd=SDM5L1RwQ1J1SWdUalgreEFubGV0QT09) ・SSI 履修のポイント（PDF 資料） (https://hosei-keiji.jp/wp-content/uploads/SSI_rishuu_point.pdf) ・SSI 新入生ガイダンス（動画） (https://www.youtube.com/watch?v=DiAlw6mhFwE) ・SSI 生共通履修ガイダンス（動画） (https://hosei-keiji.jp/wp-content/uploads/db541f312f3b1125654049f5a108b6d8.mp4) ・2023 年度第 3 回 SSI 運営委員会 2022 年度秋学期 GPCA 集計結果について ・2023 年度第 4 回 SSI 運営委員会 2024 年度シラバス作成について 2023 年度シラバスチェック（質保証委員）について ・2023 年度第 6 回 SSI 運営委員会 2023 年度春学期 GPCA 集計結果 カリキュラム・ポリシーに基づくシラバス掲載内容の第三者確認について 新入生オリエンテーションの実施について（3/26（火）10:00-11:30） ・成績調査願 (https://www.hosei.ac.jp/keiei/data/2019/2019fall_seiseki04.pdf) 	

4.5 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。

4.5①授業改善アンケートの結果を組織的に活用していますか。	はい
4.5②入学前アンケート及び卒業生アンケートの結果を組織的に活用しています	はい

か。	
【具体的な活用事例】	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善アンケートにおいて、「講義の内容とシラバスに書かれていることは合致していましたか？」といった独自質問の追加を行った。その回答結果を運営委員会において共有し、シラバスの記載内容と実際の授業運営の整合性について検証した。 ・SSI 運営委員会を定期的に開催し、大学が集計したアンケート結果をもとに SSI 学生と一般学生らの結果を比較検討することで、SSI 学生の学習成果について把握した。 	

基準5 学生の受け入れ

部局による自己点検・評価は実施しない

基準6 教員・教員組織

6.1 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員組織を編制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。

6.1①教員が担う責任は明確になっていますか。	はい
6.1②教員は職員と役割分担し、それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで、組織的かつ効果的な教育研究活動を実現していますか。	はい
【根拠資料】	
<ul style="list-style-type: none"> ・法政大学スポーツ・サイエンス・インスティテュート運営委員会規定 ・2023 年度第 1 回 SSI 運営委員会 2023 年度以降の質保証委員について ・2023 年度第 2 回 SSI 運営委員会 2024 年度 SSI カリキュラム改編について ・2023 年度第 3 回 SSI 運営委員会 カリキュラム委員会の開催について ・2023 年度第 4 回 SSI 運営委員会 2023 年度シラバスチェック（質保証委員）について ・2023 年度第 5 回 SSI 運営委員会 2024・2025 年度 SSI 運営委員会委員長の選任について ・2023 年度第 6 回 SSI 運営委員会 2024 年度 SSI 運営委員会副委員長の選出について 	

基準7 学生支援

7.1 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備し、適切に実施していること。

7.1①学生が能力に応じて自律的に学習を進められるようサポートする仕組みを整備していますか（補習教育、補充教育、学習に関わる相談等）。	はい
7.1②障がいのある学生や留学生の実態に応じ、それらの学生に対する修学支援を行っていますか。	はい
7.1③学習の継続に困難を抱える学生（留年者、退学希望者等）に対し、その実態に応じて対応していますか。	はい
7.1④ I C T を利用した遠隔授業を行う場合にあっては、自宅等の個々の場所で学習する学生からの相談に対応するなどの学習支援を行っているか。また、学生の通信環境へ配慮した対応（授業動画の再視聴機会の確保等）を必要に応じて行っていますか。	はい
【根拠資料】	
<ul style="list-style-type: none"> ・2024 年度 SSI ガイダンス及び履修に関する情報について (https://hosei-keiji.jp/ssi/class/rishu/) ・SSI 履修の手引き (https://hosei-hondana.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjo20DA1fQ==&No=1) ・SSI シラバス 	

<p>(https://syllabus.hosei.ac.jp/web/show.php?nendo=2024&gakubueng=AYA&t_mode=pc)</p> <ul style="list-style-type: none"> SSI フレッシュマンオリエンテーション (リアルタイムオンライン開催) (https://hosei-ac-jp.zoom.us/j/84238019934?pwd=SDM5L1RwQ1J1SWdUalgreEFubGV0QT09) SSI 履修のポイント (PDF 資料) (https://hosei-keiji.jp/wp-content/uploads/SSI_rishuu_point.pdf) SSI 新入生ガイダンス (動画) (https://www.youtube.com/watch?v=DiAlw6mhFwE) SSI 生共通履修ガイダンス (動画) (https://hosei-keiji.jp/wp-content/uploads/db541f312f3b1125654049f5a108b6d8.mp4) 2023 年度第 1 回 SSI 運営委員会 2023 年度 SSI 自己点検・評価活動について 2023 年度以降の質保証委員について 2024 年度 SSI 新カリキュラムについて 2023 年度第 2 回 SSI 運営委員会 2024 年度 SSI カリキュラム改編について 2023 年度第 3 回 SSI 運営委員会 2024 年度以降の授業編成における留意点について 2023 年度自己点検・評価シート／中期目標・年度目標等 カリキュラム委員会の開催について 2023 年度第 4 回 SSI 運営委員会 2023 年度シラバスチェック (質保証委員) について 2023 年度第 6 回 SSI 運営委員会 ハイフレックスを活用した対面授業の運用について 2024 年度学生アシスタント制度「ラーニング・サポーター」の実施について 体育会所属学生が利用する「欠席願」の書式変更等について 2023 年度第 7 回 SSI 運営委員会 2023 年度中期目標・年度目標達成状況報告書

基準 8 教育研究等環境

8.1 研究活動に関わる支援、条件整備を通じ、研究活動の促進を図っていること。また、健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。

8.1①「法政大学研究倫理規程」に沿って、学生も含めて研究倫理の遵守を図る取り組みを行っていますか。	はい
【根拠資料】	
<ul style="list-style-type: none"> 法政大学研究倫理委員会規定 (https://www.hosei.ac.jp/application/files/7616/9639/1114/regulation26.pdf) 研究倫理教育 (法政大学研究開発センター) (https://www.hosei.ac.jp/suisin/gakunaisha/71399/) 	

基準 9 社会連携・社会貢献

9.1 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。

9.1①「研究及び社会貢献に関する方針」のもと、学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取り組みを行っていますか。	はい
9.1②社会連携・社会貢献に関する取り組みにより、地域や社会の課題解決等に貢献し、大学の存在価値を高めることにつながっていますか。	はい
【根拠資料】	
<ul style="list-style-type: none"> 2023 年度第 1 回 SSI 運営委員会 2023 年度履修証明プログラム受講希望者 2023 年度第 7 回 SSI 運営委員会 2023 年度中期目標・年度目標達成状況報告書 	

基準 10 大学運営

部局による自己点検・評価は実施しない

上記の現状分析結果において、【いいえ】と回答した項目があった場合は、その理由と改善計画について記入してください。

大学基準	【いいえ】と回答した点検・評価項目を記述してください
基準を選択してください	
【いいえ】と回答した理由と、改善の必要がある場合、改善計画について記述してください。	

II 改善・向上の取り組み

1 2023 年度 大学評価委員会の評価結果への対応

【2023 年度大学評価結果総評】（参考）

SSI は、優れたスポーツ能力を持つ者が特別推薦入学試験を通じて入学するという、複数学部にわたるインスティテュートであり、その目的は、競技力のある学生に対して、スポーツを科学的および文化的な観点から理解することができる教育プログラムを提供することである。そのために SSI は、スポーツ科学専門の科目と各学部が提供する様々な科目を組み合わせたカリキュラムを運用しているが、ここ最近では新カリキュラムの実施に向けて着実に準備を重ねてきており、いよいよ 2024 年度に実施される。今後はこれらの取り組みの成果を評価し、改善策を検討する仕組みが必要となるであろう。また各学部の教員からなる組織で、それぞれの学部での業務に追加する形で様々な SSI 学生支援が行われていることも評価できるであろう。

自己点検・評価書類にて、課題として今後改善に取り組んでいきたいものとして、「SSI 運営委員会に学習アドバイザーを設置して、学習指導を行うなどの対策を検討していきたい」を挙げている。この対策について、2022 年度の総評でも言及されており、おそらく継続課題と考えられるので、引き続き検討が望まれる。また 2022 年度大学評価委員会の評価結果への対応状況にて、2022 年度の総評にて指摘されていた「一般学生と SSI 生の交流を図ることに努めたい」と回答しているが、2023 年度での重点目標等には含まれていない。今後、具体的な目標の設定が望まれる。

【2023 年度大学評価委員会の評価結果への対応状況】

SSI の目的は、競技力の高い学生の全人的な成長を促し、文武両道にとどまらず、スポーツの文化的価値を発信できる人材を育成するとともに、SSI 生の充実したデュアルキャリア（人生というキャリアにアスリートキャリアという軸を追加した状態）とセカンドキャリアの実現に貢献することである。このことを念頭に、SSI では、2024 年度より現行のカリキュラム・ポリシーを基軸とした新カリキュラムを展開する。新カリキュラムの開始にあたり、まず SSI 生がその目的や内容について理解しやすいように、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを再編した。また、競技力向上や指導者資格の取得といった学生のニーズに応じた履修プランを例示した資料を作成し、それらをガイダンスや動画、また SSI の HP を通じて周知することにより、SSI 生がこれまで以上に計画的かつ合理的な履修計画を作成できるように配慮した。

新カリキュラムでは、初年次教育の充実を図る目的から、これまで市ヶ谷キャンパスのみで開講されていた SSI の導入科目である「スポーツ学入門」をフルオンデマンド授業として全ての SSI 生が履修可能な仕組みを構築した。この授業では、SSI 担当教員らがオムニバス形式で登壇し、授業マナー、文献検索及び引用の仕方、レポートの書き方、プレゼンテーション技法といった大学での学びに不可欠なスキルの指導を行うとともに、SSI で開講される各授業の概要について紹介する。加えて、学生相談室、キャリアセンター、大学スポーツ協会とも連携し、メンタルヘルスやハラスメントの対策、キャリア教育といった充実した大学生活の構築に不可欠な内容も提供する。また、ディスカッションやディベートを行いやすいゼミ形式の科目として「スポーツ学演習」を市ヶ谷と多摩の両キャンパスに新設することによって SSI 生の専門性の向上を図る。

2024 年度は、新カリキュラムの円滑な進捗と SSI 生の学習支援を目的として、昨年度からの課題である学習アドバイザー的な役割を担うラーニング・サポーター制度や授業支援アシスタント制度の活用について SSI 担当教員に呼びかけていきたい。2024 年度は必修科目であるスポーツ心理学（市ヶ谷・多摩開講）及びコーチング学Ⅱ（市ヶ谷開講）において授業支援アシスタント制度を採用する。また、一般学生と SSI 生の交流を促進するために学生センターや保健体育センター等と協同して、試合の応援ツアーやメディアラウンジなどで SSI 生が所属するクラブ紹介やスポーツ教室の企画などを実施することや、一般学生が履修するスポーツ総合演習やスポーツ科学等のスポーツ健康科学系の授業において学

生補助員制度を活用することによって一般学生と SSI 生の交流を試みたい。

2 各基準の改善・向上

基準4 教育・学習

4.5 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。

4.5③学習成果を測定するために設定した指標は、大学のディプロマ・ポリシーに明示した学生の学習成果を把握・評価できる指標や方法になっていますか。	S. さらに改善した又は新たに取組んだ A. 概ね従来通りである又は特に問題ない B. 更なる改善が必要な点がある又は改善を困難とする要因がある。	S (さらに改善した又は新たに取組んだ)
上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述してください。 Sの場合は、改善した取り組みや新たな取り組み、成果を記述してください。 Bの場合は、改善計画又は改善を困難とする要因について記述してください。		
・授業改善アンケートにおいて、「講義の内容とシラバスに書かれていることは合致していましたか？」といった独自質問の追加を行った。その回答結果を SSI 運営委員会において共有し、シラバスの記載内容と実際の授業運営の整合性について検証した。		
4.5④学習成果を測定するために設定した指標に基づき、定期的に学生の学習成果を把握・評価していますか。	S. さらに改善した又は新たに取組んだ A. 概ね従来通りである又は特に問題ない B. 更なる改善が必要な点がある又は改善を困難とする要因がある。	A (概ね従来通りである又は特に問題ない)
上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述してください。 Sの場合は、改善した取り組みや新たな取り組み、成果を記述してください。 Bの場合は、改善計画又は改善を困難とする要因について記述してください。		

4.6 教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

4.6①学習成果の把握・評価の結果に基づいて、教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置に関する適切性の確認や見直しをしていますか。	S. さらに改善した又は新たに取組んだ A. 概ね従来通りである又は特に問題ない B. 更なる改善が必要な点がある又は改善を困難とする要因がある。	S (さらに改善した又は新たに取組んだ)
上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述してください。 Sの場合は、改善した取り組みや新たな取り組み、成果を記述してください。 Bの場合は、改善計画又は改善を困難とする要因について記述してください。		
・新カリキュラムを確定するために、SSI 運営委員会後に質保証委員会及びカリキュラム委員会を開催し、SSI 生の学習成果の向上を念頭に、教育課程及びその内容、方法の改善・向上について検討した。 ・新カリキュラムの指標となる新たなカリキュラム・ポリシーを SSI 運営委員会において承認し、それに基づいて基礎科目及び専門科目を再編し、SSI 運営委員会において確定した。		
4.6②教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置に関する適切性の確認や見直しの基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしていますか。	S. さらに改善した又は新たに取組んだ A. 概ね従来通りである又は特に問題ない B. 更なる改善が必要な点がある又は改善を困難とする要因がある。	S (さらに改善した又は新たに取組んだ)
上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述してください。 Sの場合は、改善した取り組みや新たな取り組み、成果を記述してください。 Bの場合は、改善計画又は改善を困難とする要因について記述してください。		
・新カリキュラムの確定にあたり、カリキュラム委員会において新たなカリキュラム・ポリシーに依拠した開講科目案を作成し、それを質保証委員会及び SSI 運営委員会において審議・承認するプロセスを採用した。		
4.6③教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置について、外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、適切性の確認や見直しの客観性を高めるための工夫をしていますか。	S. さらに改善した又は新たに取組んだ A. 概ね従来通りである又は特に問題ない B. 更なる改善が必要な点がある又は改善を困難とする要因がある。	A (概ね従来通りである又は特に問題ない)
上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述してください。 Sの場合は、改善した取り組みや新たな取り組み、成果を記述してください。		

Bの場合は、改善計画又は改善を困難とする要因について記述してください。

基準6 教員・教員組織

6.3 教育研究活動等の改善・向上、活性化につながる取り組みを組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上につな
 げていること。

6.3①SSI内で教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発及び改善につなげる組織的な取り組みを行い、成果を得ていますか。	S. さらに改善した又は新たに取組んだ A. 概ね従来通りである又は特に問題ない B. 更なる改善が必要な点がある又は改善を困難とする要因がある。	A (概ね従来通りである又は特に問題ない)
上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述してください。 Sの場合は、改善した取り組みや新たな取り組み、成果を記述してください。 Bの場合は、改善計画又は改善を困難とする要因について記述してください。		

III 2023年度中期目標・年度目標達成状況報告書

評価基準	内部質保証	
中期目標	SSI 質保証委員会における実効的な内部質保証を安定化させる。	
年度目標	1. シラバスチェックをも担う質保証委員会とカリキュラム委員会を適宜開催する。 2. 内部質保証を安定させるため、質保証委員についての見直しを行う。	
達成指標	1. 各学期末に行う、運営委員会に合わせて両委員会を開催する。 2. 質保証委員会において、質保証委員の役割について再検討し、運営委員会に諮る。	
年度末報告	教授会執行部による点検・評価	
	自己評価	S
	理由	1. 各学期末に行う運営委員会に続いて、質保証委員会、カリキュラム委員会を開催した。特にカリキュラム委員会は必要に応じて適宜開催した。 2. 今年度からシラバス第三者確認を学部ごとの輪番制に移行し実施した。また質保証委員の役割として、新カリキュラムにおけるポリシー、マップおよびツリーの確認を依頼した。
	改善策	—
評価基準	教育課程・学習成果【教育課程・教育内容に関すること】	
中期目標	1. 新カリキュラムに関係するポリシーを策定する。 2. 各種ポリシーに準じた新カリキュラムの科目とその内容を精査する。	
年度目標	1. 新カリキュラムに向けて改訂したポリシーを最終決定する。 2. カリキュラムポリシーに沿って新カリキュラムを確定し、基礎・専門科目を決定する。	
達成指標	新カリキュラムに向けて改訂したポリシーに沿って、基礎科目及び専門科目を確定する。	
年度末報告	教授会執行部による点検・評価	
	自己評価	S
	理由	新カリキュラムを確定する上で指標となるカリキュラムポリシーを委員会で承認し、それに基づいて基礎科目、専門科目を選定し、委員会において確定した。
	改善策	—
評価基準	教育課程・学習成果【教育方法に関すること】	
中期目標	1. SSI 生が文武両道を実現するための多様な学習方法について検討する。 2. SSI 生が主体的に学び、学びを深める上で有用な教授方法を各授業担当教員に周知して実装する。	
年度目標	1. 新カリキュラムにおけるオンライン授業のあり方を検討し、実施に関わる要件をまとめる。	

		2. カリキュラム変更に合わせて、アクティブラーニングに適した少人数科目を検討する。
達成指標		1. オンデマンド形式に適した科目を選定し、オンデマンドの特性を活かした開講について具体的に検討する。 2. 演習をはじめとする少人数科目の開講について検討する。
年度末報告	教授会執行部による点検・評価	
	自己評価	S
	理由	1. 新カリキュラムにおいて実施する、オンライン授業のあり方(科目の特性や内容など)をカリキュラム委員会で検討し、3科目をオンライン(フルオンデマンド)形式で実施することとした。 2. 新カリキュラムの特徴の一つである、「スポーツ学演習(ゼミ)」を設置し少人数教育にも対応した。
	改善策	—
評価基準	教育課程・学習成果【学習成果に関すること】	
中期目標	1. SSI生の学習現状について把握する。 2. SSI生の競技・日常生活においてより実用的な学習内容を検討する。	
年度目標	1. SSI生を対象にアンケートを実施し、学習状況及び学習成果を把握する。 2. SSI生が所属する各学部と連携してGPAを共有してもらい、学習成果を把握する。	
達成指標	1. 大学が実施するアンケートを利用して、SSI生に関するデータを抽出し、運営委員会で共有する。 2. 一般学生のアンケート結果を参考に、SSI生の現状について運営委員会で共有する。	
年度末報告	教授会執行部による点検・評価	
	自己評価	S
	理由	大学が実施したアンケート結果(GPCA)を一般学生およびILACなどと比較し、委員会で共有した。また各学部から選出された委員に対して、学部所属SSI生の学習(履修を含む)状況などに気を配っていただくよう要請した。
	改善策	—
評価基準	教員・教員組織	
中期目標	1. 新カリキュラムを編成し、運営していくための体制を強化する。 2. スポーツ研究センターおよび所属する教員と連携を強化する。	
年度目標	1. 学内のスポーツに関わりのある教職員に新カリキュラムの運営協力を依頼する。 2. 新カリキュラムのポリシー及びカリキュラム内容を、SSI参画学部へ周知し、学部抽出科目担当教員に協力を要請する。	
達成指標	1. スポーツ健康学部教員をはじめとする、SSI参画学部以外のスポーツに関連のある教職員に協力を依頼する。 2. SSI参画学部教授会を通じて、科目担当者に依頼する。	
年度末報告	教授会執行部による点検・評価	
	自己評価	S
	理由	1. スポーツ健康学部から選出された委員に対し、学部全体として新カリキュラム実施に際して協力を求めた。またSSIに参画していない学部へ所属しているスポーツ関連教員に対しては、執行部が適宜協力を依頼した。 2. SSI運営委員会において、新カリキュラムについて説明し、SSI参画学部から関連科目を抽出してもらえよう教授会を通じて担当者に依頼した。
	改善策	—
評価基準	学生支援	
中期目標	1. SSIに参加している各学部や体育会各部と連携を深める。 2. SSI生を対象としたアンケートを充実させ、SSI生の学習・競技活動の実態を把握する。 3. SSI生に向けた新入生オリエンテーションや在校生ガイダンスを充実させる。	

	4. SSI 生のキャリア支援について、関係部局と連携して検討する。	
年度目標	1. 学生を対象とした各種アンケートの集計結果を各学部教員と共有する。 2. 学生アスリートのキャリア支援の方策について、関係部局（キャリアセンターなど）と連携する。 3. アカデミックアドバイザーを設置し、SSI 生の修学を支援する。 4. SSI 生が抱える様々な問題に対応するため、学生センター（学生相談室を含む）と連携を深める。	
達成指標	1. 運営委員会において、学生を対象としたアンケートの集計結果を共有する。 2. 大学キャリアセンターと連携し、SSI 学生に対して情報を発信する。 3. 体育会の部長・監督連絡会を通じて、学生の修学に関してサポートを依頼する。 4. 各キャンパスの相談室と連携し、SSI 学生に対して情報を発信する。	
年度末報告	教授会執行部による点検・評価	
	自己評価	A
	理由	1. 第6回運営委員会において学生アンケートの集計結果を共有した。 2. 大学キャリアセンターと連携して体育会学生を対象とした内容を発信してもらった。 3. 年度末に開催されている部長・監督会議で修学のみならず、生活面でのサポートについても保健体育センター長、事務を通じて依頼した。 4. 各学期に開催している SSI 運営委員会において、適宜学生相談室の利用について周知した。
	改善策	—
評価基準	社会連携・社会貢献	
中期目標	SSI が所有する資源を有効活用する方策について検討する。	
年度目標	1. 新カリキュラムに向けて、オンデマンド授業の導入について検討し、履修証明プログラム（科目履修生）の活性化を目指す。 2. スポーツ関連学部に関心のある高校生及び高校に対して出前授業を行う。 3. 千代田区コンソーシアムと連携して、SSI 科目の拠出を検討する。	
達成指標	1. 履修証明プログラムの実施・運営に協力する。 2. 入学センターと連携し、情報を得る。 3. 関連部署と連携し、科目の拠出について検討する。	
年度末報告	教授会執行部による点検・評価	
	自己評価	A
	理由	1. 新カリキュラムにおいて、オンデマンド授業（スポーツ医学関連）を導入するため、必要に応じて担当者と相談できる体制を整えた。 2. 執行部が入学センターと密に連絡を取っており、依頼内容に応じて、いつでも対応できる体制が整っている。 3. 今年度は、SSI 科目の拠出はなかったが、オンデマンド授業（スポーツ医学関連）については、担当教員といつでも対応できる準備を行っている。
	改善策	—
【重点目標】		
1. 2024 年度から運用する新カリキュラムについて、これまでの議論を踏まえて最終調整を行う。 2. 学生支援の充実化に向けて、実効可能な方策を検討する。		
【目標を達成するための施策等】		
1. 新カリキュラムのカリキュラムポリシー及びカリキュラムツリーを確定する。 2. カリキュラムポリシーに沿った新カリキュラムの科目を確定する。 3. オンライン（特にオンデマンド）に適した科目を選定し、運用の是非について具体的に検討する。 4. 新カリキュラムについて関係部局に依頼し、SSI 生ガイダンス及び SSI 関連ホームページを通じて周知する。		
【年度目標達成状況総括】		

今年度の重点目標として、2024年度から実施する新カリキュラムを確定することを掲げた。まずその指標となる、カリキュラムポリシー及びツリーを運営委員会で確定し、それらに沿って科目を選定し、マップを完成させた。選定のポイントとして、必修科目の見直しを重点的に行い、新入生全員が共通して学ぶ必要がある「スポーツ学入門」を必修化した。本科目は科目の特性上、全員が共通して理解すること、繰り返し視聴できることが望ましいため、オンライン（フルオンデマンド）形式で開講する。またアクティブラーニングを効果的にできる「スポーツ学演習」を新たに設置して、ゼミ形式による少人数クラスを提供することにより、きめ細かい学生対応が可能となる。前述以外にも授業内容を反映した科目名に変更したり、より現代社会にあった内容の科目を新設したりすることで、約20年ぶりの新カリキュラムが出来上がった。また今後新カリキュラムを遂行する上で、参画学部から抛出される専門科目の持続的安定化、及び参画学部に関わらず全てのスポーツ関連教員の協力が必要不可欠であると考え。それらについても、年度目標に挙げた内容は運営委員会において一通り説明し、理解と協力を得ることができた。以上のことから今年度の自己評価としては、高い水準で達成できたと認識している。

IV 2024年度中期目標・年度目標

評価基準	内部質保証
中期目標	質保証委員会における実効的な内部質保証を安定化させる。
年度目標	2024年度から開始する新カリキュラムの運営状況の検証を目的として、質保証委員を見ず。
達成指標	運営委員会においてカリキュラム委員及びシラバスチェック担当の各質保証委員を新たに選任する。
評価基準	教育課程・学習成果【教育課程・教育内容に関すること】
中期目標	各種ポリシーに準じた新カリキュラムの科目とその内容を精査する。
年度目標	新カリキュラムの適切な運営と定着を図るため、設置科目及びそれらの教育内容について検証する。
達成指標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学が実施するアンケート結果等を用いて、設置科目及びそれらの教育内容について評価する。 2. 運営委員会、カリキュラム委員会等において、新カリキュラムの課題や改善点等に関する意見聴取を行う。
評価基準	教育課程・学習成果【教育方法に関すること】
中期目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. SSI生が文武両道を実現するための多様な学習方法について検討する。 2. SSI生が主体的に学び、学びを深める上で有用な教授方法を各授業担当教員に周知して実装する。
年度目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文武両道を目指すSSI生の学習効果の促進を目的として開講したオンデマンド授業について検証する。 2. SSI生における主体性の向上と学びの深化を目的として新設した少人数授業について検証する。
達成指標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学が実施するアンケート結果等を用いて、オンデマンド授業（スポーツ学入門等）及びゼミ形式で展開する少人数授業（スポーツ学演習）について評価する。 2. 運営委員会、カリキュラム委員会等において、上記授業の課題や改善点等に関する意見聴取を行う。 3. 新設したオンデマンド授業と少人数授業について検証するため、必要に応じて教員・学生から聞き取りを行い、その結果を議論する。
評価基準	教育課程・学習成果【学習成果に関すること】
中期目標	新カリキュラムの学習成果について精査する。
年度目標	新カリキュラムの適切な運営と定着を図るため、学習成果の観点から新カリキュラムについて検証する。
達成指標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学が実施するアンケート結果等を用いて、SSI生と一般学生、また2024年度と過年度を比較検討し、新カリキュラムの学習成果について評価する。 2. 運営委員会、カリキュラム委員会等において、新カリキュラムの課題や改善点等に関する意見聴取を行う。

評価基準	教員・教員組織
中期目標	1. 新カリキュラムを編成し、運営していくための体制を強化する。 2. スポーツ研究センターおよび所属する教員と連携を強化する。
年度目標	1. 新カリキュラムの検証機能を向上させる体制を整える。 2. スポーツ研究センターやスポーツ健康学部にも所属する教員と協同する。
達成指標	スポーツ研究センターやスポーツ健康学部にも所属する教員の協力を得ながら、新カリキュラムの適性について検証可能な教員をカリキュラム委員や質保証委員に選出する。
評価基準	学生支援
中期目標	1. SSI 生の支援について関係部局と連携する。 2. SSI 生の学習支援の充実を図る。 3. 一般学生と SSI 生の交流を図るため関連部局と連携する。
年度目標	1. SSI 生の支援について関係部局に協力を依頼する。 2. SSI 生の学習を支援する方策について協議する。 3. 一般学生と SSI 生の交流を促進するための企画について関係部局に相談する。
達成指標	1. キャリアセンター、学生相談室等と連携し、SSI 生の充実した学生生活の実現に寄与する情報を発信する。 2. 授業支援アシスタント制度やラーニングサポーター制度等の既存資源を軸として、SSI 生の学習支援を実装するための方策を幅広く再検討する。 3. 学生センター、保健体育センター等と協同して、体育会の応援ツアー、メディアラウンジや学習ステーションでの学習、またスポーツ総合演習等において学生補助員制度を活用することによって一般学生と SSI 生の交流を促す。
評価基準	社会連携・社会貢献
中期目標	SSI が所有する資源を有効活用する方策について検討する。
年度目標	1. 履修証明プログラム（科目履修生）の活性化について協議する。 2. 千代田区コンソーシアムと連携して、SSI 科目の拠出を検討する。
達成指標	1. 履修証明プログラムの実施・運営に協力しながら、関連部署と協議する。 2. 関連部署と連携し、科目の拠出について検討する。
<p>【重点目標】</p> <p>1. 2024 年度から運用する新カリキュラムの適切な運営と定着を図るため、新カリキュラムについて検証する。</p> <p>2. SSI 生の充実した学生生活の実現に資する方策について検討する。</p> <p>【目標を達成するための施策等】</p> <p>1. 新カリキュラムについて検証するため、次の取り組みを行う。</p> <p>①質保証委員を再編する。</p> <p>②大学が実施するアンケート結果等を活用する。</p> <p>③SSI 運営委員会、カリキュラム委員会等において意見を聴取する。</p> <p>2. SSI 生に対する支援として、次の取り組みを行う。</p> <p>①関連部局と連携し、SSI 生の充実した学生生活の実現に資する情報を発信する。</p> <p>②授業支援アシスタントやラーニングサポーター等の活用について検討する。</p>	